

学生時代の自分を振り返るための楽曲制作と MV 制作

国際情報学部 国際情報学科
メディアスタディーズコース
2052009

【作品概要】

大学生活の中で就活という出来事を経て子供から大人への成長期に感じる焦燥感を強く感じた。その思いや悩みについて少しでも共感して就活という出来事を振り返ってもらうことを目的に楽曲制作と MV 制作を行った。

1. 背景

卒業制作を行うにあたって制作期間が丁度就活期間と重なっており、就活時期への葛藤や不安が付きまとう日々だった。そこで大学4年生のこの時期でしか味わえない気持ちを振り返る事が出来るように、以前から挑戦をしてみたかった楽曲制作という形で残すことにした。MV は就活期間当時の写真を使用したり撮影場所に就活期間によく訪れていた公園を選んだことによりこの作品を通して当時の焦燥感をいつでも思い出せるような物とした。

2. 目的

就活は大学4年生のほとんどの人が経験するが、一生に一度の出来事であり、誰もが大きな不安や悩みを抱える。そこで本制作を通して就活時に1番悩んだ「大人になりきれない子供のままの自身」という思いに焦点をあて曲を聴いた人に少しでも共感して自分自身を振り返ってもらうことを目的に楽曲制作を行った。

3. 手法

まず初めに歌詞を考えた。その後、曲は Mac 版 Logic Pro を使用して Mac で打ち込みで制作した。録音は、Mac に外付けのマイクを使用し録音した。MV 撮影は iPhone のカメラを使用し、編集は全て CapCut で行った。その後、楽曲を聞いてもらい、どう感じるかなどの調査を行った。

4. 制作の過程

子供から大人への成長期に感じる焦燥感をテーマに制作をしたかったため、絶望や諦観の中にもほんの少し希望があるような曲調にしたいと考えた。最近 TikTok で drill というジャンルの remix が流行っており、ドラムはそれを参考に打ち込んだ。メロディはドラムを打ち込む前に一度打ち込んでいたが、ドラムを打っている最中に別のより良いメロディが浮かんだため、最終的に再度打ち込み直しを行った。未来への不安感を出したかったの

で、シンセの未来感ある音で少し不思議なメロディを作り、そこにカウンターメロディとして暖かさがイメージできるようなものを加え、重みを足すために最後に 808 ベースを用いた。

その後ボーカルを取り、ピッチを最後に上げて完成した。



図1 Mac 版 Logic Pro の制作画面

MV については当初はリクルートスーツを着て友人と撮影する予定だったが予定が合わず最終的に 1 人で撮影を行った。撮影箇所は就活期間に考えをまとめる時に散歩していた道を展望台とし、当時と同じように歩く映像を iPhone で撮影した。Capcut で完成した曲と映像を合わせ、就活期間に撮影していた写真を挿入し歌詞入れを行なって作品完成とした。

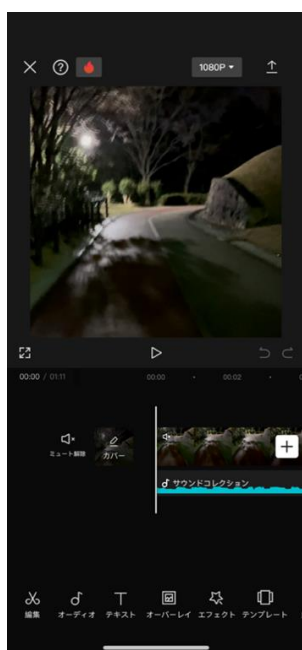


図2 CapCut の制作画面

5. 結果

この作品を5名に聴いてもらったところ、全員が就活期間を振り返るきっかけになったという感想を得た。ただ抽象的な歌詞が多かったため気持ちの部分をもう少し詳細に歌詞にするとよかったという意見もいただいた。

6. まとめ

この楽曲を制作するにあたって自分自身も就活期間を振り返るいい機会になった。曲を通して普段言えないようなことも伝えられることがわかった。自分の気持ちを表現することに恥ずかしさを感じている部分もあったので今後は伝えたいことをもう少し言葉にしていきたいと思う。

使用ソフト

- ・ Logic Pro
- ・ CapCut